

平成23年度 さんかく実践講座

東日本大震災は、私たちのまちづくりに対する考え方を根本的に見つめ直すきっかけとなっており、一人ひとりの思いや意見が認められ、活かされることが重要になっています。

教材「クロスロード」体験を通して、語り合い・認め合うまちづくりの大切さを考えてみませんか。

日時：平成24年3月16日（金）

13:30～16:00

会場：滋賀県立男女共同参画センター

“G-NETしが” 大ホール

主催：滋賀県立男女共同参画センター

定員：50名 参加費：無料

無料託児あり（要予約：6ヶ月～就学前のお子さん対象）

講演（13:30～15:00）

テーマ「誰もが主体のまちづくりにむけて

～教材『クロスロード』の活用を通して～」

講師 慶應義塾大学教授・「チームクロスロード」メンバー

吉川肇子さん

体験（15:10～16:00）

災害対応カードゲーム教材「クロスロード」

「クロスロード」は、文部科学省が進める「大都市大震災軽減化特別プロジェクト」の一環として、「チームクロスロード」が制作したカードを用いたゲーム形式による防災教育教材です。「クロスロード」とは「重大な分かれ道」「人生の岐路」のことであり、「人数分用意できない緊急食料をそれでも配るのか」など実際に迫られた難しい状況判断がカードとして出題され、それらの対応を自らの問題として考え、また、様々な意見や価値観を参加者同士共有することなどを目的としています。

申込み 裏面の申込書に記入の上、滋賀県立男女共同参画センター“G-NETしが”へ持参するか、FAX・メールで提出してください。締め切り3月9日（金）

誰もが主体のまちづくりにむけて
教材「クロスロード」の活用を通して



